



みらい通信

第56号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
 連絡先 〒028-3318
 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
 電話 019-671-2244
 FAX 019-671-2243
 Email miraiken@shiwa-mirai.com
 発行日 平成25年 3月14日(木)

■ 森のあそび場 りんくる冬

2月17日(日) 紫波フルーツパーク内の農楽(のら)交流館で
 “りんくる冬”が行われました。

林の中をタイヤチューブや肥料袋で滑ったり、森の中にイグルーや
 雪だまを造ったり、雪
 の上に寝ころがった
 り・・・冬でもこんなに
 遊べるんだ！冬だから



こんなに楽しめるん
 だ！！

2年目の“りんく
 る”はこれで終了で
 すが、子どもだけ
 なく大人も楽しめる
 “りんくる”に、参
 加してみませんか？



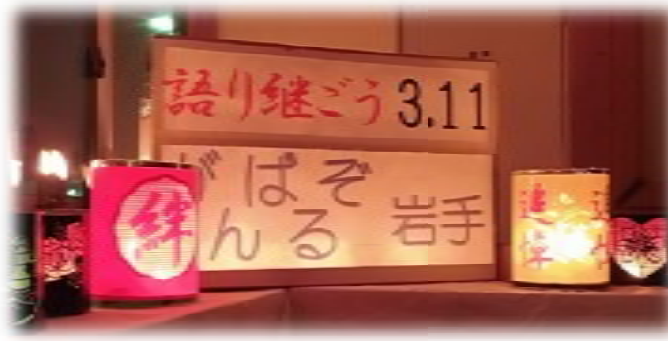
■ 東日本大震災追悼夢灯り

3月10日(日) 紫波中央駅待合施設に追悼
 の思いを込めて、夢灯りを飾りました。

当初、ロータリーに飾る予定でしたが、最大
 瞬間風速29メートルという荒天のため、待合
 施設に並べました。

また、今回は田老で被災し紫波町に住んでい
 る佐藤イサさん制作の「田老の夢灯り」をお借
 りし、展示しました。佐藤さんは、花や文字を
 ていねいに切りぬいた趣のある「田老の夢灯り」
 の作り方を古舘公民館で教えているそうです。
 (3月12日に終了)

そのほかに、住民有志が作成した竹の夢灯り
 や灯ろうを展示、集まったみなさんで黙祷し、
 お亡くなりになった人たちのご冥福をお祈りし
 ました。



床には「3.11」と灯ろうを並べました



「田老の夢灯り」と竹灯ろう

■ 3月の部会 *会員のみなさんの参加をお願いします*

3月15日(金) 13時30分
27日(水) 18時

食話倶楽部部会
またあした倶楽部、森のあそび場スタッフ打合せ

みなさんの参加、お待ちしております。

ことのは



昔ながらの踏み床温床

暖かい日差しが差し込むようになってきた今日この頃。露地栽培の「こかげのうえん」でも苗仕立てが始まりました。苗半作（作物を育てるうちの半分は苗作りですすでに決まってしまうということ）というコトバもあるとおり、だいじな時期です。

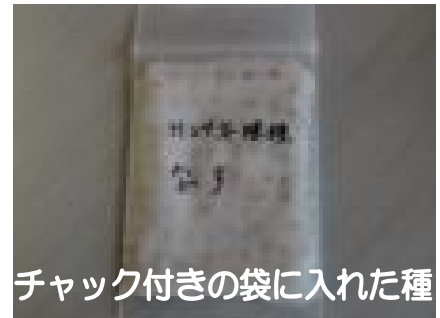
電熱線の温床などは持っていないので、昔ながらの踏み床温床です。落ち葉や、米ぬかなどを積んで水をかけながら踏んで作るこの温床うまく作れば、内部の温度は醗酵熱によって70にも達するのだとか。そのため、使用する際には、表面に土をかぶせて温度を調節します。

もちろん電気代はかかりません。ちなみに、一人で、枠から作って7時間くらいでできました。

大掛かりな温床を用意しなくても、家庭菜園程度なら、湿らせた脱脂綿に種を挟んで、チャック付きの袋にいれ、胸ポケットに入れたり、ひも付きの袋に入れて首からぶら下げたりする方法もあります。主にナス、トマト、ピーマンの仲間にはしか有効ではないのですが、こちらは、体温によって発芽を促します。もちろん電気代はかかりません。こちらは10分もあればできます。発芽したら（白い根っこのようなものがひょこっと出てきたら）セルトレーやポットなどに移して適切な管理をしてください。

いずれにしてもナス科の発芽適温は昼28度、夜22度くらいなので、24時間の加温が必要なのですが、方法は電気に頼るだけではないのです。種から育てれば楽しさもひとしおです。植物の種は口の閉まる袋に入れておけば、常温で1年、冷蔵庫で2、3年、冷凍庫では10年以上持ちます。（ここでは電気に頼りましょう）興味がある方はぜひ、育ててください。

こかげのうえん 関 大輔



チャック付きの袋に入れた種

みらい文庫(仮称) 本のご案内



「クーヨン」

子どもが育つ かぞくが育つ
オーガニックな育児雑誌

ストレッチを取り入れたあそびや、自然の中でのあそび。美味しいレシピや簡単な服の作り方など盛り沢山のコンテンツです。

春には、森林関係の本を置く予定です。

〔 編集後記 〕

紫波中央駅前も雪が無くなり春を感じられる季節となりましたが、花粉症の人たちにとってはつらい季節ですね。そして、大陸からは黄砂やpm2.5なんて怖いものも降ってくるなんて……。うかうかの外の空気を思いっきり吸うこともできなくなりましたね。

は～るよ来い、は～やく来い と楽しみにしている人はどんどん減ってしまうのでしょうか。

